

# 米国最大の輸入相手国、メキシコ

イ

ンフレに伴う利上げにより高くなった金利、それに負けず堅調な経済を背景に続く「強い米ドル」。しかし、コロナショック以降の為替マーケットにおいて、それ

よりも強い動きを示している通貨の1つがメキシコペソだ。主要な株価指数であるボルサ指数も今年2月に史上最高値を更新するなど、好調さが目立つ。

そんなメキシコ経済を支える要因の1つが、旺盛な直接投資。2023年1～9月は329億米ドルと過去最高だった2013年に迫る水準で、中国企業の進出や設備増設が多い。例えば、米テスラはメキシコ北部ヌエボ・レオン州の巨大施設で、安価な次世代電気自動車(EV)を製造する計画を立てているが、そこに部品を供給すべく、その周辺地域で中国の自動車部品メーカーの建設ラッシュが始まっているという。その他にも多くの中国企業が、米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)を利用し、関税を回避

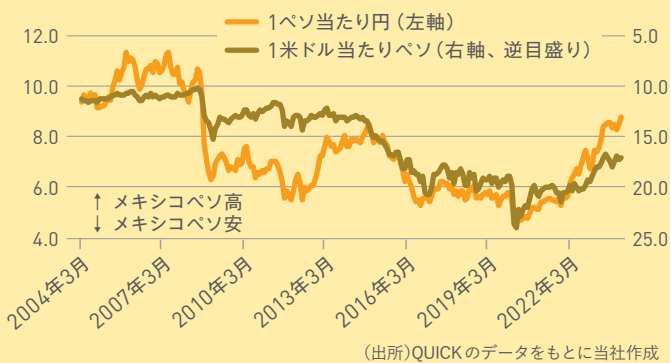
する目的で積極的に進出。メキシコはサプライチェーン見直しの世界的な潮流を受け、米国にとって最大の輸入相手国に浮上した。この流れは今後も継続しそうだ。

ある意味でそのきっかけとなったのが、タリフマン(関税男)を自称するトランプ前米大統領。大統領選挙で返り咲く可能性もある。争点の1つである不法移民問題は「メキシコとの国境から来る」だけで、メキシコ人の割合は4分の1程度だ。不法移民対策の負担がメキシコに押し付けられるといった懸念はあるが、外交問題と受け止めたい。6月にメキシコの大統領選挙があるが、現政権の路線を継承するシェインバウム前メキシコシティ市長が有利と見られ、大きな混乱はなさそうだ。

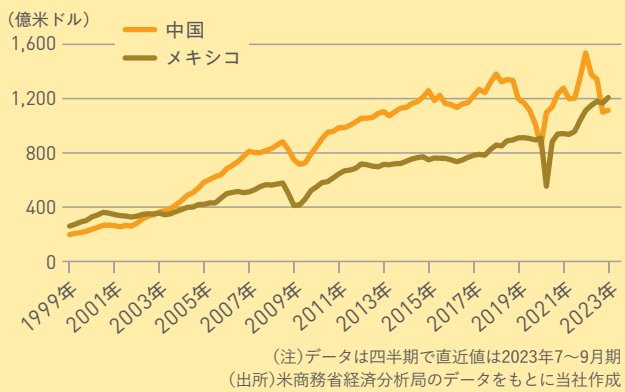
マーケットが小さく、価格が動きやすいといった新興国通貨としての弱さはあるが、米ドルと比較して一段高い水準の利回りが期待できるメキシコペソ。少し注目してみてもどうだろうか。



■ 図表1 メキシコペソ為替相場の推移  
(月次、2004年3月～2024年2月)



■ 図表2 米国のメキシコ・中国からの輸入金額の推移



amigo!

## メキシコ債券オープン

(毎月分配型/資産成長型) 愛称:アミーゴ

追加型投信/海外/債券

メキシコの国債・政府機関債および国際機関債を中心にメキシコペソ建ての債券を主要投資対象とします。

商品のお申込みにあたっては目論見書等を必ずご確認ください。目論見書等のご請求はお取引店までどうぞ。